

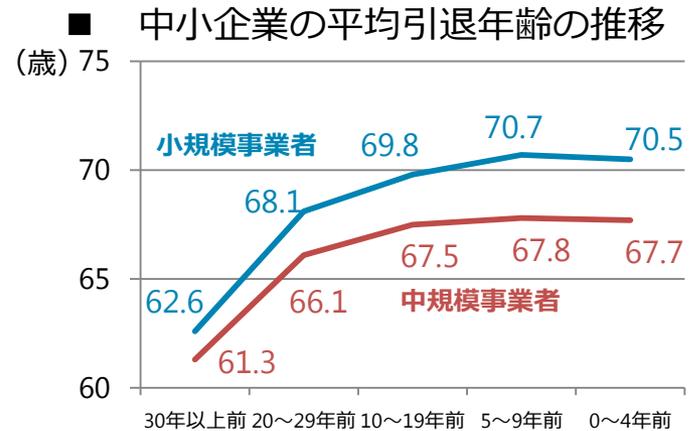
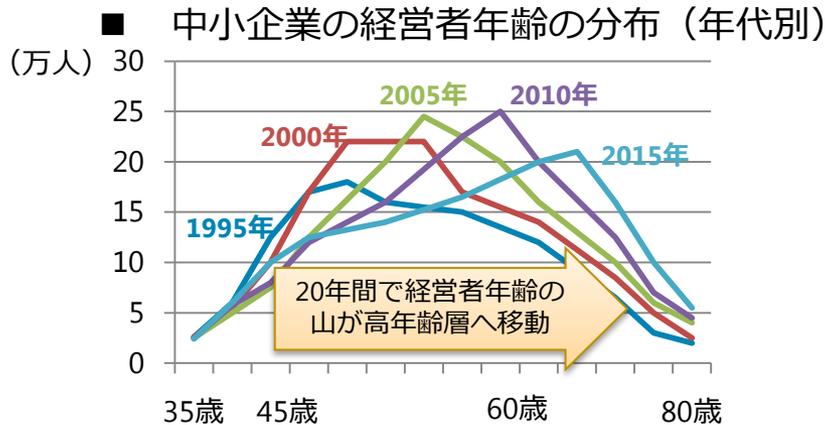
# 事業承継の取り組み

湯梨浜町産業振興課

# 全国の事業承継の状況

(資料：中小企業庁委託調査結果など)

## 1. 経営者の平均引退年齢 ～延び続ける中小企業の経営者年齢～



## 2. 経営者高齢化の背景に後継者不足 ～廃業を考える経営者の3割に後継者がいない～

- 60歳以上の経営者の50%が廃業を予定している。

(廃業を予定している理由)

「当初から自分の代でやめようと思っていた」 (38.2%)

「子どもに継ぐ意思がない」 (12.8%)

「子どもがいない」 (9.2%)

「適当な後継者が見つからない」 (6.6%)

28.6%

後継者の確保が難しいと回答する経営者は約3割。

## 3. 事業承継への取り組みを先送りしている ～事業承継には5年から10年もかかる～

- 事業承継を先送りしてしまう背景

①日々の経営で精一杯 ②何から始めればよいかわからない ③誰に相談すればよいかわからない

後継者の育成期間を踏まえ、60歳ごろには事業承継の準備をスタートすべき

# 事業承継に向けたステップ

①事業承継に向けた準備の必要性の認識

②経営状況・経営課題等の把握（見える化）

③事業承継に向けた経営改善（磨き上げ）

親族内・従業員承継

④事業承継計画策定

⑤事業承継の実行

社外への引き継ぎ

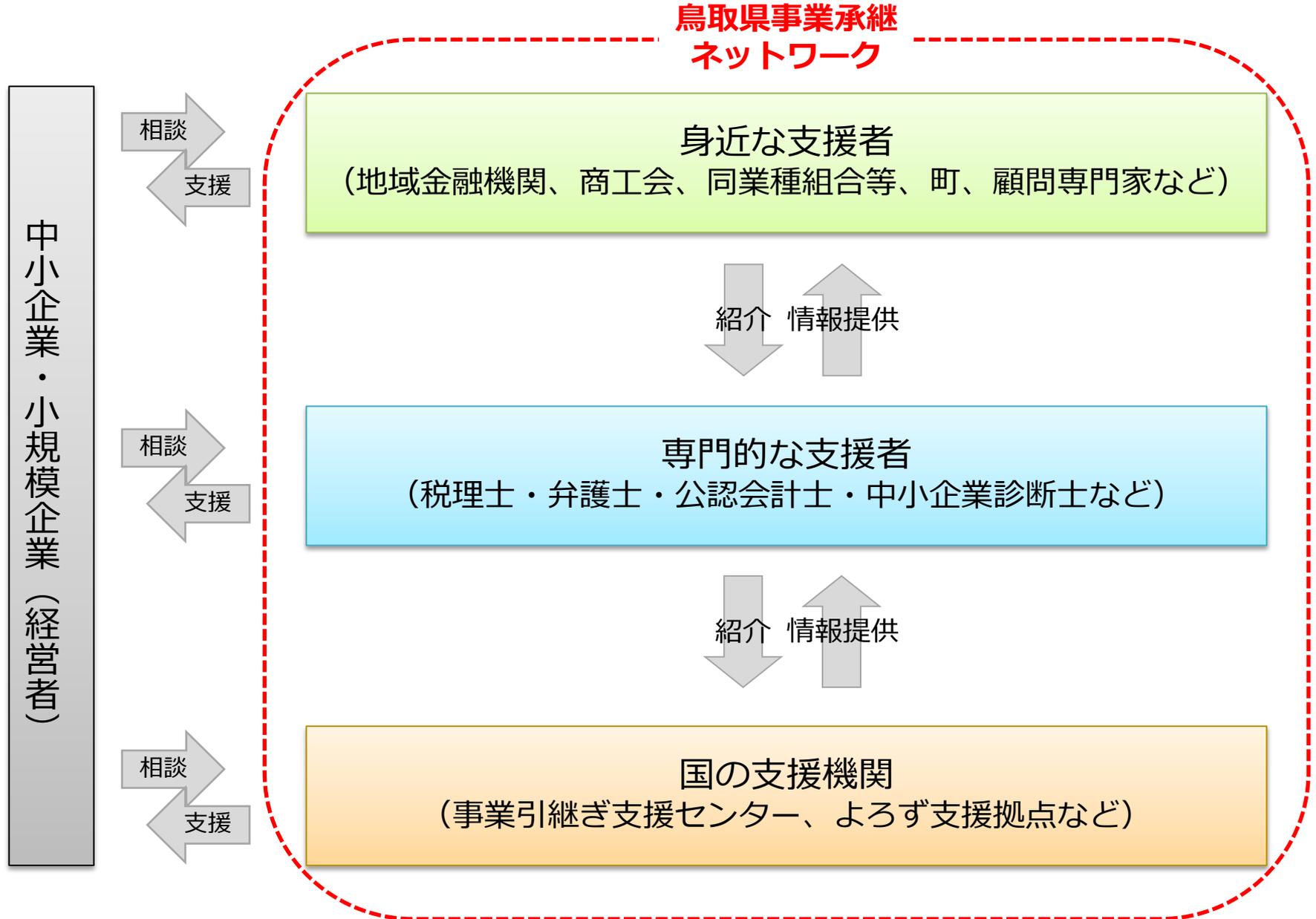
④マッチング実施

⑤M&A等の実行

ポスト事業承継（成長・発展）

各種補助制度の  
支援範囲

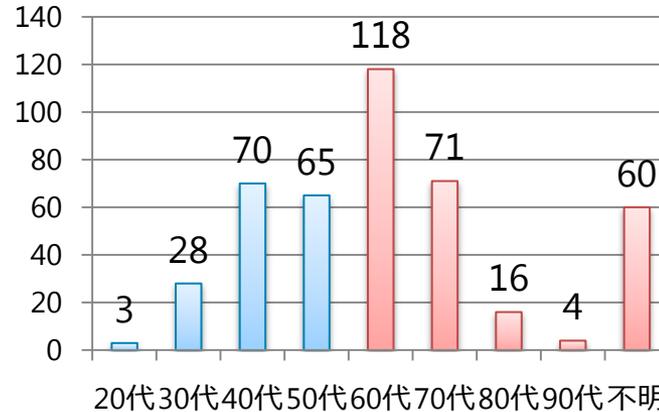
# 事業承継の支援体制のイメージ



# 県中部の事業承継の状況

(資料：事業承継アンケート調査結果報告書)

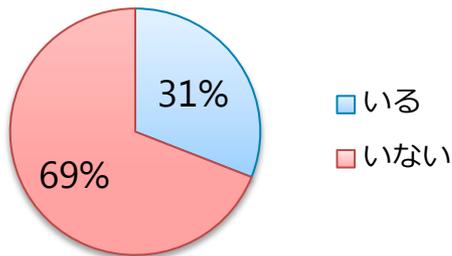
## ■ 経営者の年齢構成 (湯梨浜町内事業者の結果)



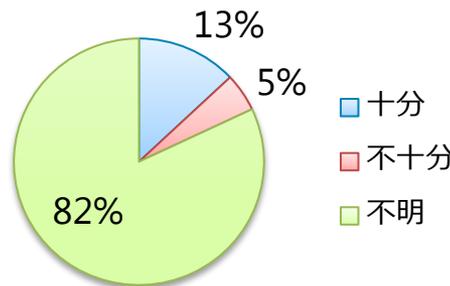
経営者の年齢60歳以上の割合  
= 269事業者 ÷ 435事業者  
= 61.8%

## ■ 意識調査 (県中部4町の事業者の結果)

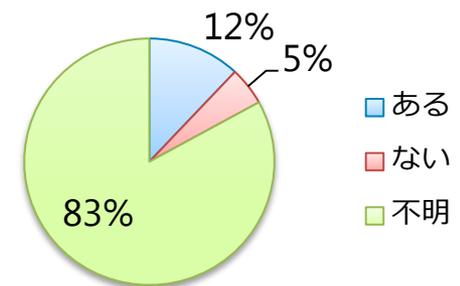
Q. 後継者候補はいますか？



Q. 後継者に引き継ぎを行う時間が十分あると考えていますか？



Q. 事業の引き継ぎを進めない明確な理由がありますか？

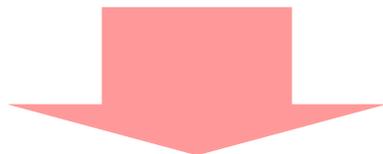


**事業承継に向け事業者の取り組みの理解不足、情報不足があるのでは？**

# ①事業承継に向けた準備の必要性の認識を持つために

## 事業者側に必要なこと

- 後継者を次期経営者として必要な能力を備えた人物として育成することには期間を要する。
- 事業用資産や経営資源の承継も十分な時間を取って計画的に進める必要がある。



**身近な専門家や支援機関に相談して準備を進めること**

## 支援者側に求められること

- 広範囲かつ専門的な知識・経験を必要とすることに加え、プライベートな領域に踏み込まざるを得ないことから受け身になりがち。
- 事業承継への取り組みは経営者本人の自覚にゆだねられるが、日常の多忙さ等から対応が後手に回りがちになることが多い。



**事業承継に取り組むきっかけを提供していくこと**